

# 令和4年度「スクール読書チャレンジ運動」実践報告書

学校名	佐賀市久保泉小学校 児童数 153 人	担当者名	武藤 郁美
住所	849-0901 佐賀市久保泉町大字川久保 1357-1	電話番号	0952-98-1171

◆ご提出いただいた個人情報は、本事業のためのみに使用し、それ以外の目的に使用することはありません。なお、県における個人情報の取扱いについては、佐賀県プライバシーポリシー及び行動プログラム (<http://www.pref.saga.lg.jp/web/privacy/privacypolicy.html>) に定めています。

## I. 取組前の宣言内容

宣言	目標	すべての子どもに！本の世界の扉を開く ～読書の幅を広げる～
	取組期間	令和4年4月20日 ～ 令和4年11月30日

※令和4年4月1日以降、各学校が取組を始めた日から、令和4年11月30日までの取組とする。

## II. 取組後の評価

取組人数	153 人	実施日数	224 日	読書冊数	19,259 冊	連携した団体数	1 団体
取組内容 (概要)	<p>① <b>本の世界の扉を開く</b></p> <p>(1) 図書館キャラクターといずみポイント</p> <p>(2) としょかんだよりの内容充実</p> <p>(3) 季節や話題に合った本の紹介</p> <p>(4) 児童の手による「クラスの図書館」「読書30選」</p> <p>② <b>本の世界を楽しむ</b></p> <p>(1) 読み聞かせ</p> <p>(2) お話会</p> <p>③ <b>本の世界をつなぎ・広げる</b></p> <p>(1) 縦割り班対抗「いきものパズル」</p> <p>(2) 環境委員会とのコラボ「SDGs」の取り組み</p>						
工夫したこと	<p>① <b>本の世界の扉を開く</b></p> <p>(1) 図書館キャラクターといずみポイント</p> <p>5月に図書館キャラクターを募集し、全校児童による投票でコンテストを行った。キャラクターは、図書館だよりの中や図書館に登場し、児童を図書館に誘っている。また、本を借りたりイベントに参加したりした時は「いずみポイント」がもらえるようにしている。このポイントは、ポイント数に応じて「プラス〇冊券」や「1か月いつでも一冊多く借りられるフリーパス券」「動物しおり」などと交換できるようにした。</p> <p>(2) としょかんだよりの内容充実</p> <p>毎月発行の「としょかんだより」には、多読者の紹介とともに、図書館でのイベントの紹介と本の紹介を行った。本の紹介では、本の内容に興味をもてるように本の表紙だけでなく紹介文(司書作成・図書委員作成)を必ず加えた。</p> <p>(3) 季節や話題に合った本の紹介</p> <p>図書館入り口のコーナーに、季節や月ごとの話題に合った本コーナーを作り、図書委員が作成したポップといっしょに掲示した。</p> <p>(4) 図書室に各学年に応じた本を掲示。</p> <p>3年生以上のクラスではオリエンテーション時に、0類から9類・絵本などの本を児童が持ち寄り「クラスの図書館」のコーナーをつくった。コーナーでは、本の表紙が見えるように掲示。また、持ち寄った本の一部は「読書30選」の本とし、児童自らも選べる「読書30選」とした。</p>						

	<p><b>②本の世界を楽しむ</b></p> <p>(1) 読み聞かせ お話ボランティアの方による読み聞かせを下学年は2週間に1度、上学年は月に1度おこなった。そのほか、図書館司書や図書館事務員、校長や教頭、養護教諭や地域教育コーディネーターなどの職員も読み聞かせを行い本の世界の幅が広がるようにした。担任をシャッフルしての読み聞かせも行った。</p> <p>(2) お話会 全校児童を対象に、お話ボランティアの方々による「お話会」を行った。図書室にミニ劇場を前日からセットし、45分のお話会を2回行った。内容は「大型絵本の読み聞かせ」「パネルシアター」「人形劇」などが行われた。</p> <p><b>③本の世界をつなぎ・広げる</b></p> <p>(1) 縦割り班対抗「生き物のパズル」 本を借りると、パズルの1ピースがもらえ、出来上がりの生き物の写真に合わせて、ピースを埋めていくパズルに縦割り班でチャレンジするようにした。</p> <p>(2) 環境委員会とのコラボ企画縦割り班対抗「SDGsパズル」「SDGsビンゴ」 環境委員がSDGsの17の目標に関する本を選書。その中の一冊を6年生が縦割り班のメンバーに読み聞かせ、内容を交流。本の表紙パズルにも縦割り班でチャレンジしたりした。また、キーワードをもとにしてSDGsの目標の番号を当てながらのビンゴゲームを行った。</p> <p>(3) ワールドカップイベント ワールドカップに出場する国の情報が書かれたポスターとトーナメント表、世界地図や日本選手の情報などを図書館に掲示。本を借りると出場国の国旗のシールが1枚もらえるというイベント。本を借りながら国旗や国の特徴にも興味をもって取り組むことができたようにした。</p>
<p>取り組んだ感想</p>	<p>本校では、本の貸出数に個人差が大きいことが課題だったため、「すべての子どもに!本の世界の扉を開く ~読書の幅を広げる~」ことを目標に掲げ取り組んだ。</p> <p>まずは、図書館に足を運んでもらえるように魅力的な図書館づくりとイベントを考えた。本を借りると「いずみポイント」がもらえ、それがたまると、楽しい商品やお得な貸出券に交換することができた。イベントについては、司書がアイデアを練るが、児童が図書に興味をもち主体的に取り組める内容にすることを心掛けた。図書委員会の児童は、司書の提案を喜び、イベントの準備など精力的に活動した。おかげで図書館祭りの期間中以外のイベントにも、多くの児童が図書館に足を運ぶようになった。</p> <p>新しい本や月のテーマに合わせた本を児童の目につく図書館の入り口に掲示したことは、本を選べなくて困っている児童の選書をサポートした。また、司書、図書委員、お話ボランティア、縦割りのリーダーそして全職員で、様々な方向から本の紹介を行ったことは、児童が<b>本の世界を楽しむ</b>機会となり、児童が手にする本の幅(分野)を広げるきっかけになり、<b>本の世界の扉を開く</b>ことにつながった。</p> <p>今年はじめて行った縦割り班対抗の取り組みでは、学年の枠を超え互いに声をかけ合う姿が見られ、縦割り班の仲間意識が高まった。さらに、環境委員と図書委員とのコラボ企画では、6年生が縦割り班のメンバーに読み聞かせを行った1冊の本がSDGsのどの目標と関係しているかを話し合い、ロゴシールを貼る活動を通して、1冊の本の世界を縦割り班の中に広げることができた。さらに、縦割り班対抗のパズルの内容を「生き物」や「SDGs」にしたことや「ワールドカップイベント」を行ったことは、本の世界を生活の中の話題と結びつけることができた。SDGsへの内容理解、世界各国への理解が深まり、<b>本の世界をつなぎ・広げる</b>ことになった。</p>
<p>これまでの取組や 今後の取組予定</p>	<p>上記に記述した取り組み以外にも、「読書標語」「スタンプラリー」「お気に入りの一冊をあなたへ読書推薦文コンクール」「図書館祭りの季節イベント」「おみくじイベント」などを行った。今後は、目標達成を目指してさらに読書に親しんでいけるように、「宝くじイベント」などを考えている。</p>

# ① 本の世界の扉を開く

(1) オリジナルキャラクター、いずみポイント、オリジナル貸し出しカード



1年生が考えた「いるきちゃん」



図書館でみんなを待つ「いるきちゃん」



いずみポイントは、いろんなポイントがある。専用のポイント入れに貯め、お楽しみに使う。

いずみポイント60Pでオリジナル貸し出しカード(上) いずみポイント15Pでフリーパス券(下)がもらえる!



(2) としょかんだよりの内容充実

『あららのはたけ』 村中 李衣 作  
横浜から山口へ引越してきたえりと、親友のエミの手紙のやりとりだけで語られるお話。最初はえりが育てているイチゴやハーブの話など、ほっこりした内容が読めますが、ときどき二人の手紙に出てくる友達「けんちゃん」のことが、読者の私達も気になってきます。なにげなく出てくる、おじいちゃんやおとうさんの言葉もステキです。読み終わったあと、最後の絵やカバーの絵も、じっくり見てください。とても読みやすく、さわやかな気持ちになれるので、読者感想文にもおすすめです!

『追跡なぞの深海生物』 藤原義弘 写真・文  
新刊書で紹介されている  
最近も、生きてるダイオウイカが見つかってニュースになっていましたね。深海には私たちが知らず知らずと、不思議な生き物がたくさんいます。巨大だったり、大きな口をしていたり、光っていたり! それは、光がとどかない真っ暗な世界で生きるための 術を身につけた結果なのです。私が一番びっくりしたのは、化学合成細菌と共生する生き物たち。人類の食糧不足もこれで解決できるかも!?

司書作成の本の紹介文

5回で終わる季節と行事の「おりがみ」  
おりがみがみんなに折れます! しかも5回で折れてかわいい作品もあるのぜひ読んでみてください!

みんなのためのルールブック  
あたりまえだけどとても大切なルールが書いてあります。たとえば、しかられている人のほうを見ない自分がいろいろな人から見られたらどうかを考えて行儀力ねなどのルールがあります。  
あなたもこの本を見てルールについて見なおしてみませんか?

図書委員作成の紹介ポップ

(3) 季節や話題に合った本の紹介、お楽しみイベント



図書委員の手作りポップで本の内容を知り、予約する児童も多い。このコーナーは人気がある。

## クリスマスイベント



クリスマスの飾りをつくる児童。リースは、いずみポイントと交換できるようにした。

## おみくじイベント



おみくじには、「大吉 今日料理をしてみよう」などのメッセージとそれに対応するおすすめの本に書かれた番号を記した。その本を借りると、ポイントがもらえるため、普段読まないジャンルの本への誘いをする事ができた。



## ワールドカップイベント

サッカーワールドカップで盛り上がる時期に開催。出場国のポスターや地図、日本選手の情報を掲示。国旗のシールをゲットするために図書館へ。

#### (4) 児童の手による「クラスの図書館」「読書 30 選」

年度当初の図書館オリエンテーション(3年以上)では、児童が「十進分類法」を意識して持ち寄った本を集めて「クラスの図書館」のコーナーを設置。本は、表紙が見えるように提示している。分類を意識できるコーナーである。

また、これらの一部は、教科書にのっている本、司書がすすめる本とともに、「読書30選」になっている。30冊をすべて読むと、「達成証明書」とともに、「いずみポイント10ポイント」と「ガチャガチャ1回券」もゲットできる(赤枠)。



## ② 本の世界を楽しむ

### (1) 読み聞かせ



通常は、読み聞かせボランティアによる「読み聞かせ」(左)。金曜日の8:15~8:30に1~3冊の本を読み聞かせしてもらっている。

校長先生や級外の先生、担任の先生を入れ替えての読み聞かせも行った(右)。それぞれの職員で選書も行う。児童は、新鮮な気持ちで読み聞かせに集中。



### (2) お話会・・・お話ボランティアによるイベント「お話会」



読み聞かせボランティアの方々による年に一度の大イベント。和やかな歌からスタートし、大型絵本やパネルシアター、人形劇など、充実した内容が繰り広げられた。ボランティアの方々のとてん温かい語り口に児童は、本の世界に浸っていた。今年、「うんちをしたのはだれよ」の大型絵本の読み聞かせがあり、その直後、紙パックと輪ゴムで作成した、うんちのイラストのついた手作りおもちゃがプレゼントされ、会場はさらに盛り上がった。

## ③ 本の世界をつなぐ・広げる

### (1) 縦割り班対抗「いきものパズル」



縦割り班ごとに、珍しい「生き物」のパズルにチャレンジした。下赤枠のように、縦割り班ごとに用意されたパズルのピースから、本を借りるたびに1ピースもらえるようにした。班で協力しながらピースをうめ、少しずつ生き物の姿が明らかになると、生き物の名前を縦割り班で当てあった。

この取り組みを通して、生き物の名前を知り生き物への興味関心が高まった。



(2) 環境委員会とのコラボ企画縦割り班対抗「SDGsパズル」「SDGsビンゴ」



環境委員会が選書した本を各縦割り班に1冊ずつ配布。縦割り班ごとに教室に集合し、6年生が下級生に読み聞かせをした(左)。  
 内容を知った後、何番の目標と関係があるかを相談し、対応する目標のロゴのシールを貼っている(右)。  
 ☆班作成のワークは右下



それぞれの縦割り班で読み聞かせた本の表紙をパズルにしたもの(真ん中)。パズルの完成に向けて、「だいぶパズルできてるよ。」「本、読んでる?」など6年生から下級生の声掛けが聞かれた。給食時には、図書委員が途中経過を知らせ、読書をすすめた。左は、パズルにピースを貼っている児童の様子。どんどん完成していくのが嬉しそう。

環境委員会によるSDGsビンゴ大会を図書館で開催。下学年・上学年に分かれて行った。  
 環境委員会の児童は、画用紙に本の中に出てくるSDGsに関する言葉を提示し、参加者は、それが何番の目標と関係しているかを当てる。示された正解を確認しながら、手持ちのビンゴカード(4マス×4マス)に印を入れていく。  
 下学年の参加が多かったが難しかった。学年ごとに行い、分かりやすい問題の出し方を工夫するとよかった。高学年は、人数もほどよく、内容理解をより深めることができた。



SDGsの目標を子どもたちに分かりやすいキーワードで示した。例えば、11(いえ・まちづくり・あんぜん)12(もったいない・リサイクル・プラスチック)など。

縦割り班ごとに、選んだ本の内容に関連しているSDGsの目標を話し合い、そのロゴシールをはったもの。右下は、その一つ。

完成したパズルを結果と共に掲示した。上のワークと並べて掲示することで、それぞれの本が、どんな内容を含んでいるのか(子どもたちの感覚で選んでいるので正解などはないが)を想像し、読書へつなげる。



☆ワーク

【目標達成率】

学年	目標冊数	達成率
1.2年	120冊	84%
3.4年	100冊	61%
5,6年	80冊	57%

【40冊未満の児童】

学年	40冊未満
1.2年	0%(0人)
3.4年	2%(1人)
5.6年	3%(2人)